



# 『高次脳機能障害のみかた』 よりよいアプローチのために

高次脳機能障害には、様々な症状が含まれ、評価したり、病態機序を知るのには容易ではない。一方で、ヒトの認知機能は、階層構造・ネットワーク構造をなし、それらの様々な要素的な機能から成り立っている。複雑に見える病態も、分離できる糸を1本1本解きほぐすようにみてゆくと、その成り立ちが見えやすくなる。症状の成り立ち、障害機序を知ることができれば、アプローチの方法も見えてくる。今回、高次脳機能障害をどのような視点で解きほぐしてゆくのかを概説する。

講師 **大槻 美佳** 先生

北海道大学大学院保健科学研究院 准教授 博士(医学)

略歴

1988年 北海道大学医学部卒業

2003年 北海道医療大学心理科学部准教授

2011年 北海道大学大学院保健科学研究院准教授(現職)

所属学会

日本神経心理学会(理事) 日本高次脳機能障害学会(理事)

日本神経学会(代議員) 日本認知症学会 日本内科学会

専門

神経心理学 高次脳機能障害学 神経学



日時:2025年10月23日(木) 18:30~20:30 (受付 18:00~)

場所:福岡青洲会病院 健診棟 3F 講堂(駐車場無料)

開催方法:現地開催+ ZOOMによるハイブリッド形式

対象:PT・OT・ST・医師・看護師,その他医療関係者

1名につき 3000円(先着100名)

締切:2025年10月10日(金)

参加:右のQRコード読み込みもしくはURLからお願いします。(https://shorturl.asia/6teV8)

※本講義受講による登録理学療法士の更新ポイントの付与を申請予定です



【お問い合わせ】

社会医療法人青洲会 福岡青洲会病院 先進リハビリテーション実践センターHOPE

担当:PT 折本 PT 池田

Tel 092-938-8859(リハビリ室直通) Mail:Seisyukai2021@gmail.com